



目 次

卷頭言	
図書館長再任にあたり	
附属図書館長 逸見 勝亮	1
英語多読教材図書－「100万語多読」の薦め	
メディア・コミュニケーション研究院	
准教授 高見 敏子	
講 師 原田 真見	3
附属図書館利用者アンケート調査結果概要(その1)	
.....	5
お知らせ	
来館日誌(平成19年3月～6月)	18
2007年日・EUフレンドシップウィーク	
北海道大学 EU情報センター展示会・講演会報告	19

図書館長再任にあたり



◇2007年5月1日から
附属図書館長に就いた。3年目である。理事・副学長・大学文書
館長でもある。

◇僕は2006年『北海道大学附属図書館概要』の
「はじめに」で次のように述べておいた。

附属図書館にかかわっている職員が自分
の部署やトレンドだけでなく、大学という
教育機関に附属する図書館の基本的役割で

附属図書館長 逸 見 勝 亮

ある教育の機能について、それぞれの言葉
で話せるようにならなければならない。学
生と教員のいずれも附属図書館にとって重
要な存在だが、大学に授業料を納入してい
る利用者と、大学が給料を払っている利用
者と、どちらがより重要な存在か、これは
そう難しい問い合わせではない。

僕は当たり前のことを書いてしまったのであ
ろう、今にいたるも、図書館職員・図書館委員
からの反応は、質問はおろか批判も賛意も一切
なく、時に感想を求めて笑うのみである。

◇僕は2007年5月に理事再任にあたり以下のように述べた。

広報担当としては、(1)発信する情報を質量ともに充実して、北海道大学の知名度を高め、(2)「北大にこの人在り」と教職員を売り出したいのです。

評価担当としては、(1)実績報告書を分かりやすく表現し、(2)評価結果を学生の教育に活かすようにしたいです。

リスク管理担当としては、(1)教育・研究・臨床現場が伸びやかで何も起きないことを願い、(2)万一の場合には迅速に対応します。

同窓会担当としては、最近の卒業生が同窓会へ参画しやすくなる工夫を図りたいものです。

図書館長としては、(1)図書館最大の利用者である学生のための図書を充実し、(2)職員が図書館の教育的役割を自分の言葉で話せるよう研修内容を改善したいです。

大学文書館長としては、(1)各部署で活用しなくなった法人文書を大学文書館に集積する仕組みを確立し、(2)卒業生と御家族、元・現教職員と御家族に御協力を仰ぎながら沿革史料収集に努力する所存です。

(『北大時報』2007年5月号)

下線部分については、からうじてひとりの図書館職員から感想をもらった。

◇学生が利用する図書の充実を、現在改めて確認する必要がある。北海道大学附属図書館の源

流が、1876（明治9）年に札幌農学校講堂内に設置した「書籍室」であったことを想起してほしい。学生の講堂（教室）に図書室があったとは、図書館の機能をよく体現した構造である。図書館はまず学生のために存在したのである。

学問の細分化は際限なく進行し、電子ジャーナルの増加——図書館経費の大部分は電子ジャーナル費用が占めている——は、学問の細分化を象徴している。学生を細分化した専門領域に巻き込むことで知的好奇心をかき立て、個性的で豊かな感性を備えた人材を育成できる。そう考えている教員が多いし、早期の専門教育を求める学生もむろん少なくない。とはいえ、細部が属している「全体」は計り知れぬとしても、専門教育に巻き込む以上は、学生に部分しか観ていないという自覚を促す教員の努力は不可欠である。蔵書を見渡せる図書館の役割はこの点できわめて重要である。

◇大学附属図書館の基本的役割である教育の機能について「それぞれの言葉で話せるようにならなければならない」との命題に多少とも意味があるなら、『榆蔭』の巻頭言を教員や図書館長だけが書いていてはいけない。

学生の目の前にいる図書館職員が、大学附属図書館について何を考えているのか、最大の利用者である学生に呼びかける、法人化とはそういう時代でもある。

図書館職員も「蔵書の俯瞰」を通じて、学生が「学問を俯瞰」できるように一翼を担わなければならない。

(へんみ まさあき)

英語多読教材図書 —「100万語多読」の薦め

メディア・コミュニケーション研究院 准教授 高見 敏子
同 上 講師 原田 真見

北分館2階のゲートを通過すると、赤や青、オレンジなど色鮮やかな英語の本がたくさん並んでいる書棚が目に留まることでしょう。これが2005年秋に誕生した英語多読教材図書のコーナーです。「100万語多読」指導のため英語多読図書の購入を要望し、北分館のご協力で短期間に実現しました。

「100万語多読」は、酒井邦秀著『快読100万語！ペーパーバックへの道』（筑摩書房、2002年）の出版以降、実践している個人および教育機関が全国的に増えている学習法です。語学学習に多読が良いとは以前から言われてきたことですが、1冊目のペーパーバックで挫折するケースが多かったようです。その点、「100万語多読」には多くの学習者が受けやすくなっている仕掛けがあります。

まず「非常に易しく書かれた英語の本をたくさん読む」ということです。誰もが中学校レベルの単語で書かれた1,000語程度の短い本から始めます。薄い本なので10分程度で読め、「英語なのにすらすら読める」ことを経験できるのです。わかるから楽しい、楽しいから楽に続けられる—そして1冊読破するごとに読み切った爽快感を味わえ、自信もできます。

とは言え、ただ読むだけでは張り合いません。そこで「100万語多読」では1冊読むたびにその本の語数を足していく、自分の読了語数を把握します。目標はもちろん「100万語」です。北分館の多読教材図書の表紙にはその本の語数ラベルが貼ってありますので、語数がすぐにわかります。読めば読むほど語数は着実に増えていくので、もっと読もうという励みになります。

ラベルにはもうひとつ「レベル」情報も表示されています。これは「100万語多読」で「読みやすさレベル（略称 YL）」と呼ばれているもので、多読図書の難易度の目安を0.0（もっとも易しい）～9.9（もっとも難しい）の統一基準で示そうという試みです。この YLを見れば異なるシリーズの多読図書でも難易度を簡単に比較することができます。「100万語多読」では英語力に関わらず初めはYL0.8程度の多読図書を読むことを推奨していますが、自然に上の YL の本が読みたくなってきます。以前は難しく感じた YL の高い本が無理なく読めるようになったり、久しぶりに YL の低い本を読んでみたら以前に比べてすっと理解できたりしたときなどに多読の効果を実感する人が多いようです。

現在北分館には約1,400冊の英語多読教材図書があります。もっとも借りられているのはイギリスの出版社による4大シリーズ（Penguin Readers, Macmillan Readers, Oxford Bookworms Library, Cambridge English Readers）です。Cambridge は全部オリジナルですが、他の3シリーズは古典的名作をやさしく書き換えたもの（retold 版といいます）や、実話に基づくもの、有名人の伝記、映画のノベライズなど、様々なジャンルのものが入っています。朗読CDが付属しているものはリスニングの学習にも使えます。また日本語作品の英訳が入っている洋販ラダーシリーズも人気があります。

Oxford Classic Tales や Penguin Young Readers ではカラフルな挿絵を見ながら英語で童話が楽しめます。ほのぼのとした『がまくんとかえるくん』シリーズにファンが多い Arnold Lobel, 『おさるのジョージ』の絵本、映画『チャーリーとチョコレート工場』の原作者 Roald Dahl の作品など、英語の絵本や児童書に親しむのも楽しいものです。児童書のシリーズには他に、アメリカの小学校で

読まれている Boxcar Children やイギリスの小学校低学年向けの Corgi Pups などがあります。

物語よりも事実について書かれた本に関心がある人には、科学絵本 Let's-Read-and-Find-Out や、病気・保健の My Health, Oxford Bookworms Factfilesなどのシリーズがお勧めです。木の上の不思議な小屋からタイムスリップする Magic Tree House シリーズでは、物語の中で歴史や科学を学べます。もっと詳しく知りたくなったら、同じ棚の Research Guide を手に取ってみてください。

All Aboard Reading, Puffin Easy-to-Read, DK Eyewitness Readers, DK ELT Graded Readers, Skyrider Chapter Books の各シリーズには物語と科学・歴史・雑学ものとの両方が入っています。Skyrider はニュージーランドの小学校の副読本で、内容に地域性を感じられるのも面白いものです。

その他、初級レベルのコミック形式が特に人気の Oxford Dominoes, 語彙レベルの割に読みやすいと評判の Heinemann New Wave Readers, 小さなミステリーのシリーズ R.I.C. Headlights など、多様な多読図書が揃っていますので、ぜひ一度英語多読教材のコーナーに足を運んでみてください。

「100万語多読」については、全学教育科目の一環として2006年度から英語演習で関連授業を複数開講しています。また2007年2月には「英語多読のゆうべ」を催して広く参加者を募り、「100万語多読」の実践方法と北分館の英語多読教材図書の各シリーズの紹介を行いました。また同様の企画を予定していますので関心のある方は執筆者までご連絡ください。

「100万語多読」を個人で実践する場合、大きな悩みは図書購入費用がかさむことですが、北分館の英語多読教材図書を利用すれば、まったく費用をかけずに「100万語多読」を実践することができます。2006年秋には、実際に英語多読教材図書を利用してお金をかけずに見事100万語読破を達成した学生さんの第一号が現れ、北分館に感謝の投書を寄せてきました。

利用統計では本格的な多読授業を開講した2006年4月から月ごとの貸出数が伸び、多い月には1,000回以上の貸出が記録されています。一方、長期休暇の月でも350回を超える貸出があり、自発的に多読を実践している人が相当数いることがわかります。2007年5月下旬時点までの貸出累計は9,410回、貸し出された本の平均貸出回数は1冊あたり7.7回になりました。北大の学生・院生・教職員のほか、放送大学の学生や一般市民にも利用が広がっているようです。これからもこの英語多読教材図書がますます多くの人に利用され、英語力の向上に役立ててもらえることを期待しています。



附属図書館利用者アンケート調査結果概要(その1)

附属図書館は、図書館サービス向上の方策検討に資するため、平成18年12月に、教員（全員）、大院学生及び学部学生（無作為抽出）に対してアンケート調査を実施しました。

配布及び回答数は以下のとおりです。

教 員 配布2,150 回答数775 (回答率36.0%)

大学院生 配布1,341 回答数371 (回答率27.7%)

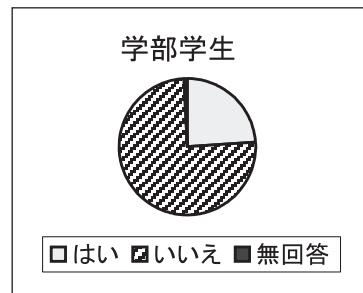
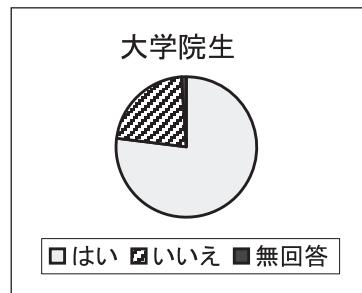
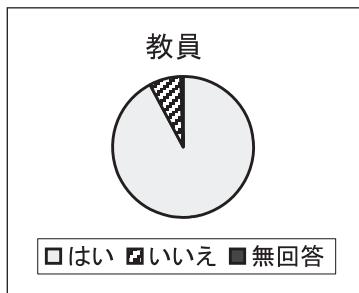
学部学生 配布1,378 回答数256 (回答率18.6%)

今回のアンケート調査は、大学図書館に期待するサービスと実際に利用して感じるサービスとのギャップを確認し、利用者の満足度がどの程度かを調べることを中心として行いました。調査項目としては、施設・設備に関する11項目、図書・雑誌、情報に関する13項目、職員・サービスに関する11項目の全35項目にわたる満足度に関するものほかに、電子ジャーナルとHUSCAP（北海道大学学術成果コレクション）に関する質問も設けました。

今回は、電子ジャーナルの利用、HUSCAPの認知度、本館、北分館に関する評価等の概要について報告します。

◎電子ジャーナルの利用についてお聞きします。

- ・電子ジャーナルを利用したことがありますか。

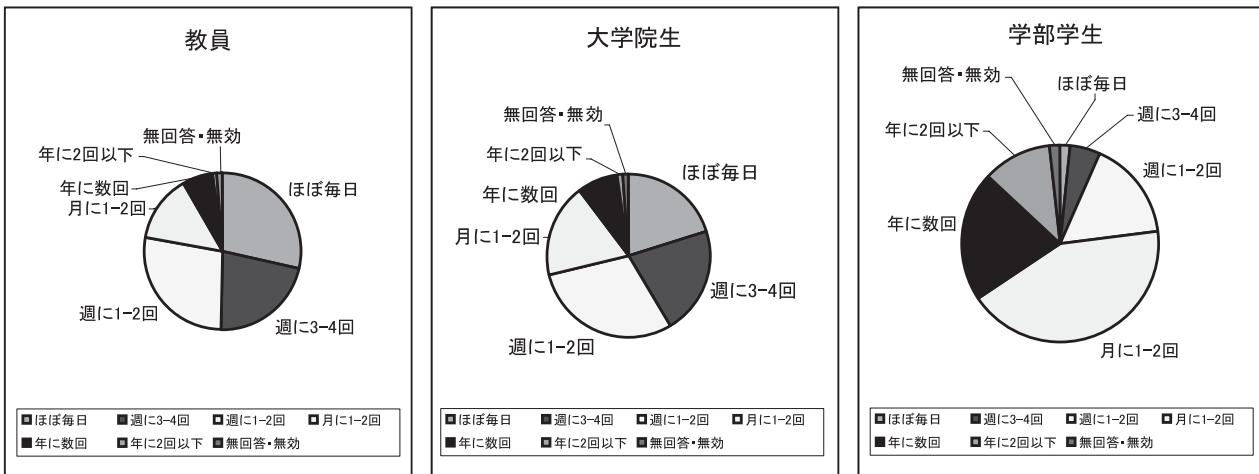


	教員	比率
はい	714	92.1%
いいえ	56	7.2%
無回答	5	0.6%
母数	775	100.0%

	大学院生	比率
はい	285	76.8%
いいえ	82	22.1%
無回答	4	1.1%
母数	371	100.0%

	学部学生	比率
はい	61	23.8%
いいえ	193	75.4%
無回答	2	0.8%
母数	256	100.0%

• 利用頻度はどの位ですか。



	教員	比率
ほぼ毎日	204	28.6%
週に3-4回	154	21.6%
週に1-2回	198	27.7%
月に1-2回	98	13.7%
年に数回	47	6.6%
年に2回以下	6	0.8%
無回答・無効	7	1.0%
母数	714	

	大学院生	比率
ほぼ毎日	58	20.4%
週に3-4回	60	21.1%
週に1-2回	85	29.8%
月に1-2回	53	18.6%
年に数回	23	8.1%
年に2回以下	3	1.1%
無回答・無効	3	1.1%
母数	285	

	学部学生	比率
ほぼ毎日	1	1.6%
週に3-4回	3	4.9%
週に1-2回	10	16.4%
月に1-2回	26	42.6%
年に数回	13	21.3%
年に2回以下	7	11.5%
無回答・無効	1	1.6%
母数	61	

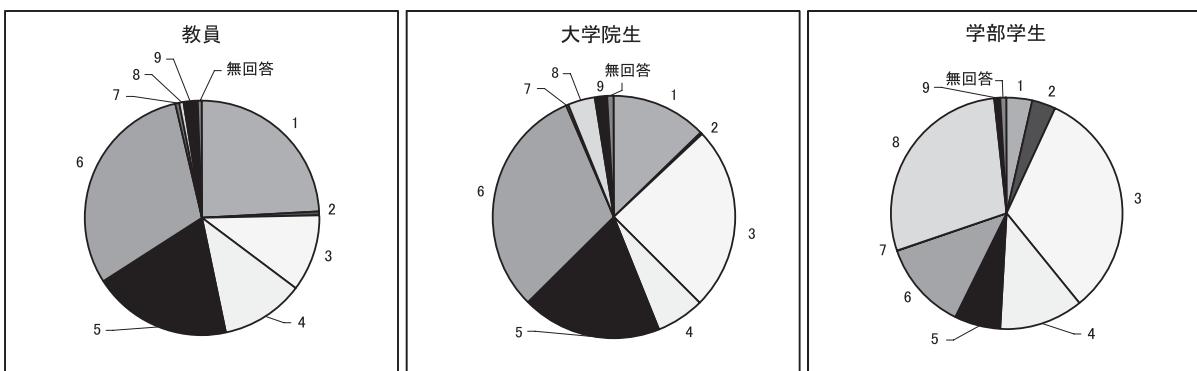
【コメント】

教員の92.1%, 大学院生の76.8%, また学部学生も23.8%が電子ジャーナルを利用したことがある。その利用頻度は、教員はほぼ毎日利用することが最も多く、大学院生は週に1-2回、学部学生は月に1-2回が最も多い。教員の約78%が週に一度以上、約92%が月に一度以上、電子ジャーナルを利用している。

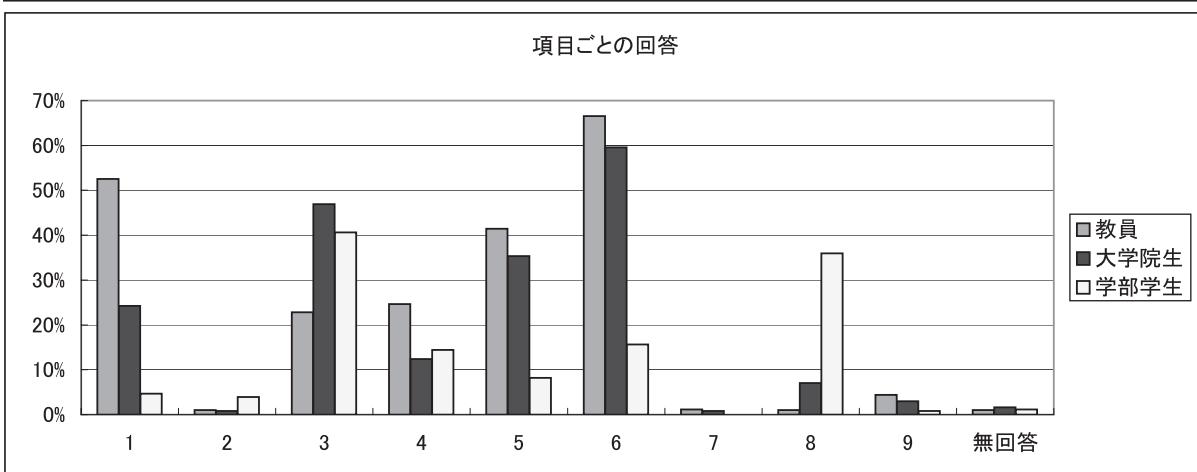
・電子ジャーナルについてあなたの意見に近いものは以下のどれですか。

(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 電子ジャーナルがあれば冊子体(プリント版)は不要 | 6. 古い年代のものも電子ジャーナルで見られるようにすべき |
| 2. 冊子体があれば電子ジャーナルは不要 | 7. 電子ジャーナルではなく他のことに予算を使うべき |
| 3. 電子ジャーナルも冊子体もどちらも必要 | 8. よくわからない |
| 4. 電子ジャーナルがよいか冊子体がよいかは雑誌毎に異なる | 9. その他 |
| 5. 電子ジャーナルのタイトル数をもっと増やすべき | |



項目	教員	比率	項目	大学院生	比率	項目	学部学生	比率
1	407	52.5%	1	90	24.3%	1	12	4.7%
2	8	1.0%	2	3	0.8%	2	10	3.9%
3	177	22.8%	3	174	46.9%	3	104	40.6%
4	191	24.6%	4	46	12.4%	4	37	14.5%
5	321	41.4%	5	131	35.3%	5	21	8.2%
6	516	66.6%	6	221	59.6%	6	40	15.6%
7	9	1.2%	7	3	0.8%	7	0	0.0%
8	8	1.0%	8	26	7.0%	8	92	35.9%
9	34	4.4%	9	11	3.0%	9	2	0.8%
無回答	8	1.0%	無回答	6	1.6%	無回答	3	1.2%
母数	775		母数	371		母数	256	



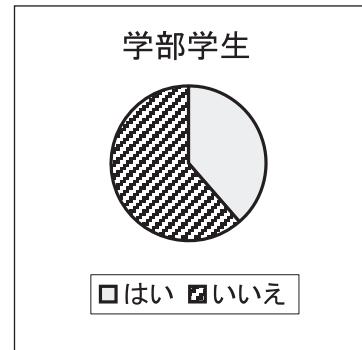
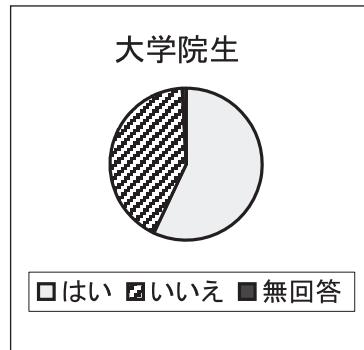
【コメント】

教員・大学院生で最も多かったのは、「古い年代のものも電子ジャーナルで見られるようにすべき」で、それぞれ66.6%, 59.6%であった。教員では、次に「電子ジャーナルがあれば冊子体（プリント版）は不要」が52.5%と多かったのに対し、大学院生は「電子ジャーナルも冊子体もどちらも必要」が46.9%と多かった。学部学生で一番多かったのは「電子ジャーナルも冊子体もどちらも必要」が40.6%, 2番目は「よくわからない」であった。

一方、「電子ジャーナルではなく他のことに予算を使うべき」との回答は教員・大学院生・学部学生ともに0%~1.2%と少なかった。

◎ HUSCAP (ハスカップ：北海道大学学術成果コレクション) についてお聞きします。

- あなたは、HUSCAP を知っていますか？

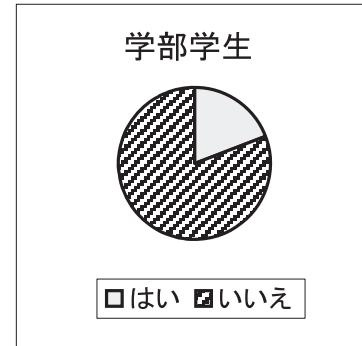
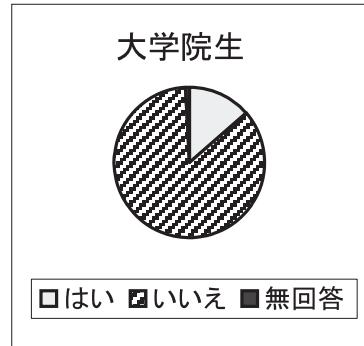
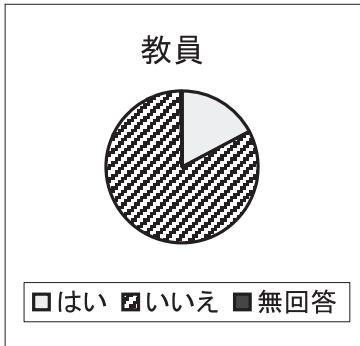


	教員	比率
はい	694	89.5%
いいえ	76	9.8%
無回答	5	0.6%
母数	775	

	大学院生	比率
はい	211	56.9%
いいえ	157	42.3%
無回答	3	0.8%
母数	371	

	学部学生	比率
はい	99	38.7%
いいえ	157	61.3%
無回答	0	0.0%
母数	256	

- あなたは、HUSCAP で論文等を検索したことがありますか？



	教員	比率
はい	119	17.1%
いいえ	574	82.7%
無回答	1	0.1%
母数	694	

	大学院生	比率
はい	29	13.7%
いいえ	180	85.3%
無回答	2	0.9%
母数	211	

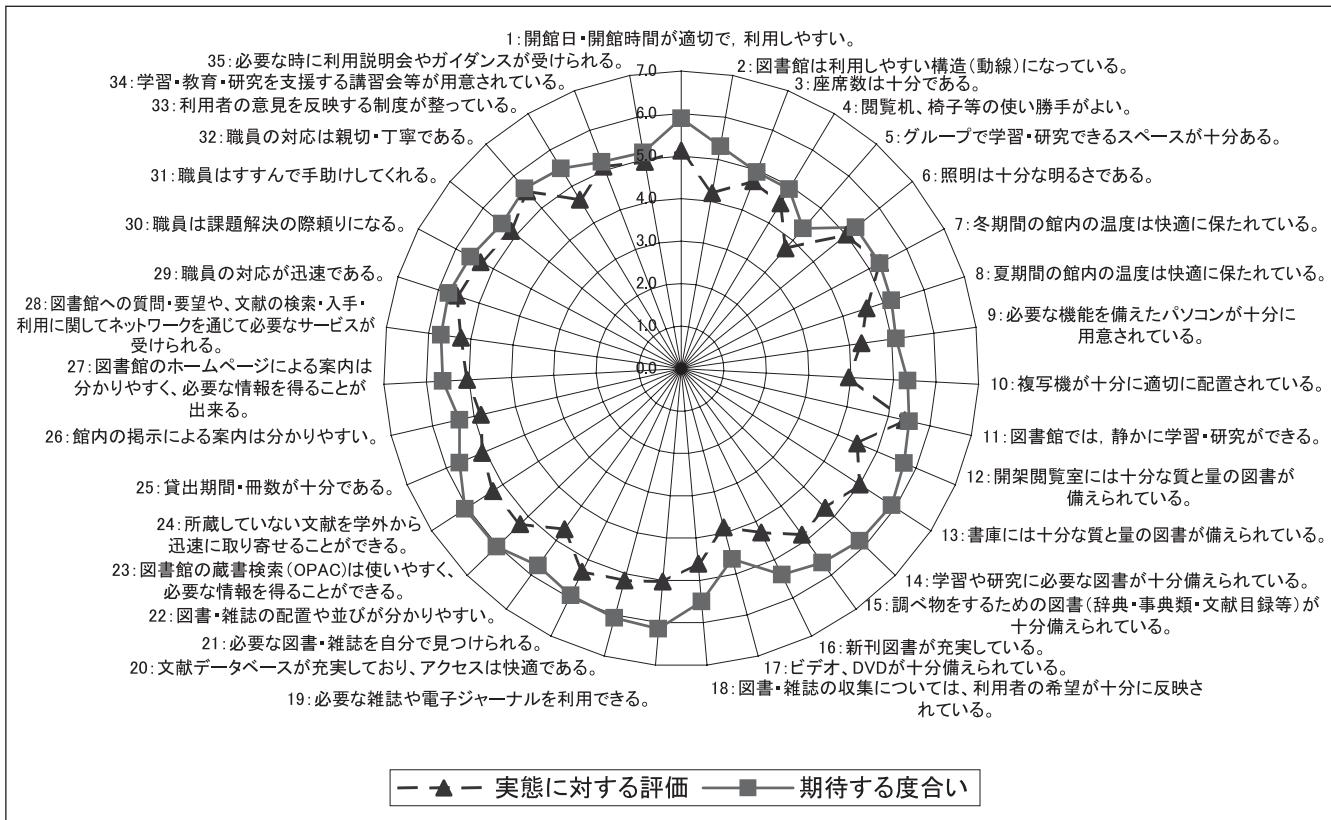
	学部学生	比率
はい	19	19.2%
いいえ	80	80.8%
無回答	0	0.0%
母数	99	

【コメント】

教員の89.5%がHUSCAPを知っているという結果であり、広報がほぼ行き渡っていると言える。現在、博士学位論文の収集蓄積に着手しているところでもあり、大学院生等に対しては、さらなる広報・周知活動が必要と考えられる。

また、HUSCAPは主として一般の検索エンジンや文献データベースを通じた利用を想定して設計されたシステムであるが、HUSCAPウェブサイトそのものの利用もあり、本学の教育・研究成果のショーウィンドーとしての意義も一定程度果たしていることがわかった。

本館への評価（教員）



上位の項目

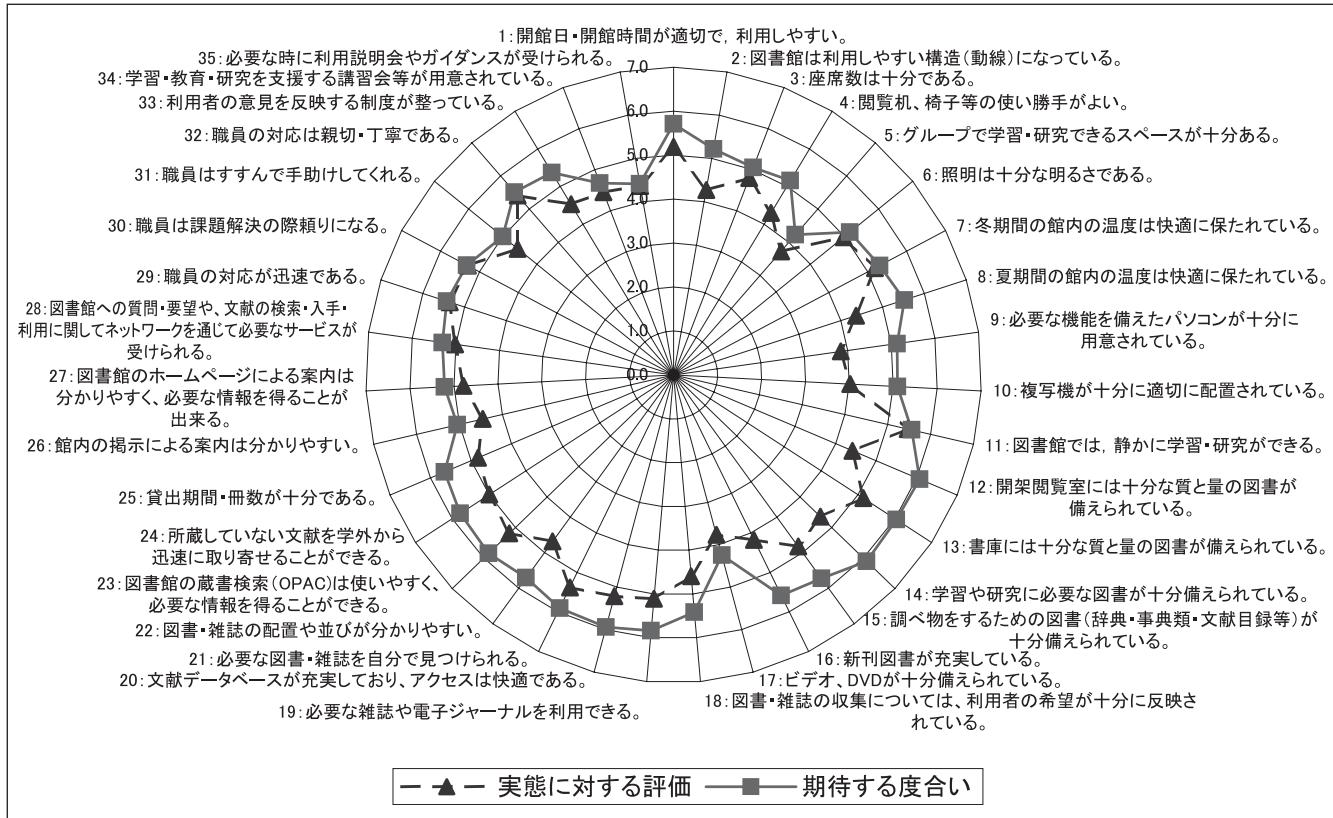
	実態に対する評価		期待する度合い		満足度
1	29: 職員の対応が迅速である。	5.54	19: 必要な雑誌や電子ジャーナルを利用できる。	6.14	7: 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。 1.00
2	32: 職員の対応は親切・丁寧である。	5.52	20: 文献データベースが充実しており、アクセスは快適である。	6.06	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。 0.98
3	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。	5.38	24: 所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。	6.05	32: 職員の対応は親切・丁寧である。
4	30: 職員は課題解決の際頼りになる。	5.34	23: 図書館の蔵書検索(OPAC)は使いやすく、必要な情報を得ることができる。	6.03	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。
5	21: 必要な図書・雑誌自分で見つけられる。	5.31	21: 必要な図書・雑誌自分で見つけられる。	5.93	3: 座席数は十分である。 29: 職員の対応が迅速である。 35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。 0.96

下位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度
1	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	3.74	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	4.36	10: 複写機が十分に適切に配置されている。 0.74
2	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	3.86	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	4.63	2: 図書館は利用しやすい構造(動線)になっている。 0.79
3	10: 複写機が十分に適切に配置されている。	3.94	4: 閲覧机、椅子等の使い勝手がよい。	4.92	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。
4	2: 図書館は利用しやすい構造(動線)になっている。	4.18	3: 座席数は十分である。	4.94	16: 新刊図書が充実している。 0.80
5	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。 16: 新刊図書が充実している。	4.28	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	5.10	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。 0.81

(満足度 = 実態に対する評価 / 期待する度合)

本館への評価（大学院生）



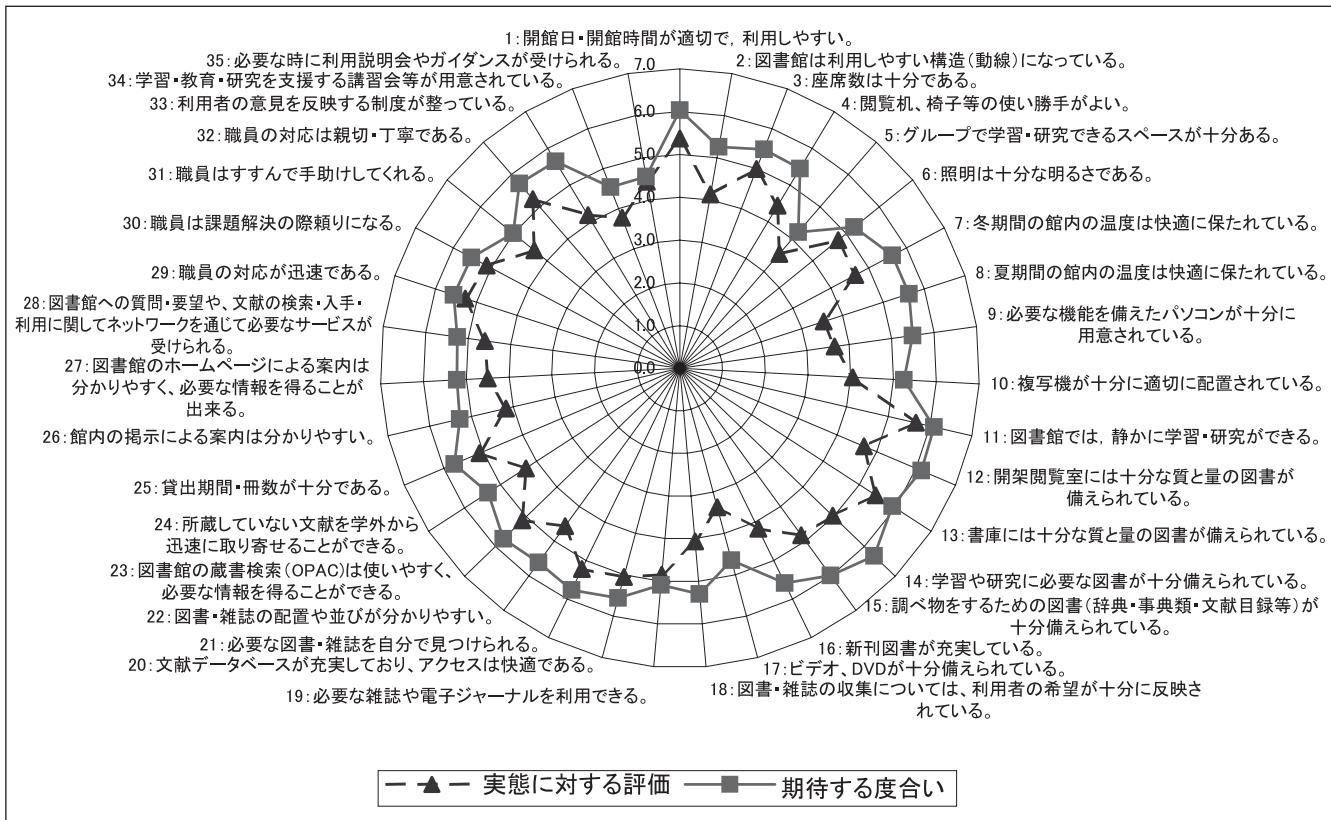
上位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度	
1	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。	5.46	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	6.09	30: 職員は課題解決の際頼りになる。	1.00
2	32: 職員の対応は親切・丁寧である。	5.40	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	6.07	29: 職員の対応が迅速である。	0.99
3	21: 必要な図書・雑誌を自分で見つけられる。	5.38	13: 書庫には十分な質と量の図書が備えられている。	6.04	35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。	
4	29: 職員の対応が迅速である。	5.35	20: 文献データベースが充実しており、アクセスは快適である。	5.93	7: 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	
5	30: 職員は課題解決の際頼りになる。	5.30	21: 必要な図書・雑誌を自分で見つけられる。	5.89	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。 32: 職員の対応は親切・丁寧である。	0.98

下位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度	
1	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	3.73	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	4.22	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	0.73
2	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	3.76	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	4.24	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	0.75
3	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	3.84	35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。	4.41	16: 新刊図書が充実している。	
4	10: 複写機が十分に適切に配置されている。	4.02	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。	4.67	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	0.76
5	16: 新刊図書が充実している。	4.17	31: 職員はすすんで手助けしてくれる。	4.99	8: 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。 10: 複写機が十分に適切に配置されている。	0.79

本館への評価（学部学生）



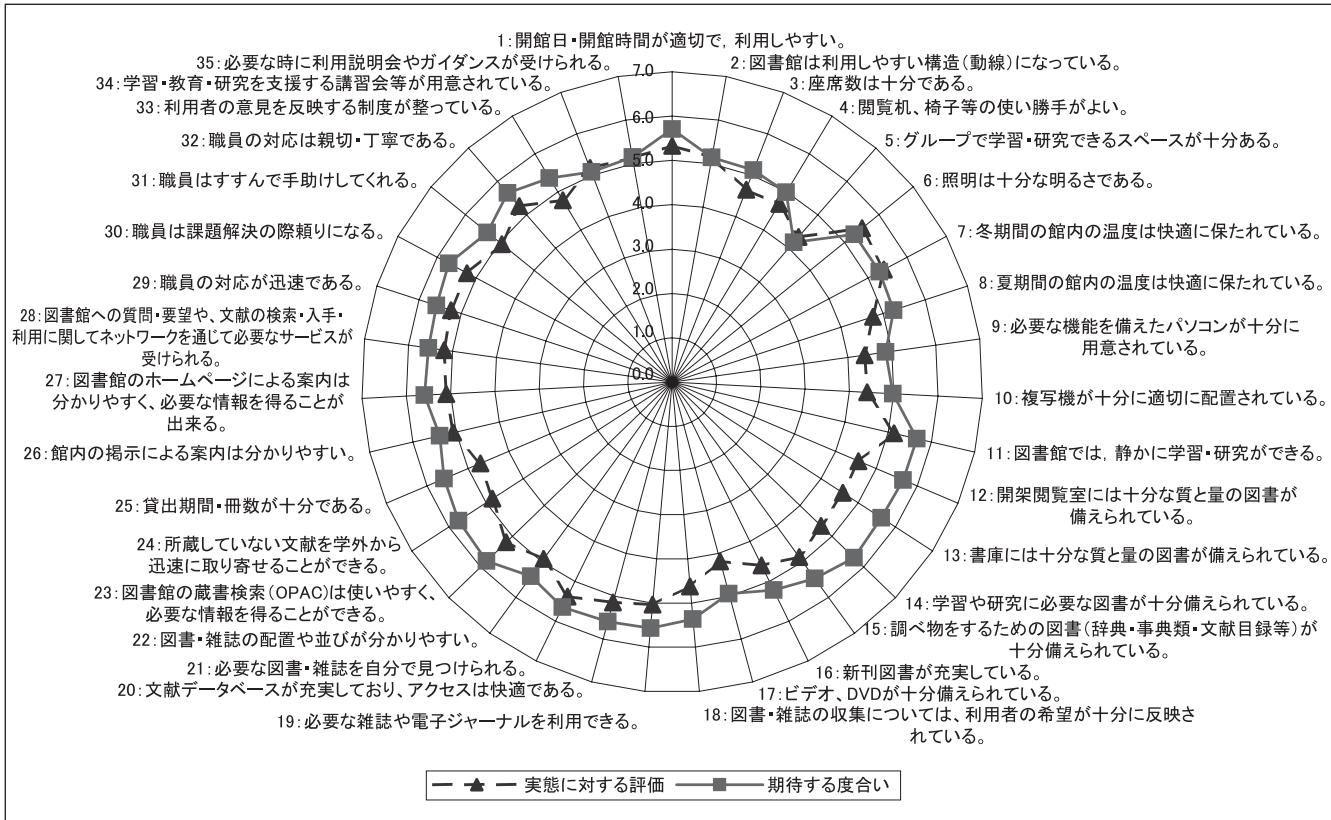
上位の項目

	実態に対する評価	期待する度合い	満足度
1	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。	5.66	35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。 0.97
2	13: 書庫には十分な質と量の図書が備えられている。	5.45	19: 必要な雑誌や電子ジャーナルを利用できる。 0.95
3	1: 開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	5.37	29: 職員の対応が迅速である。 0.93
4	29: 職員の対応が迅速である。	5.27	11: 図書館では、静かに学習・研究ができる。 0.93
5	32: 職員の対応は親切・丁寧である。	5.23	30: 職員は課題解決の際頼りになる。 0.93

下位の項目

	実態に対する評価	期待する度合い	満足度
1	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	3.37	8: 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。 0.63
2	8: 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	3.53	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。 0.66
3	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	3.54	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。 0.72
4	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	3.65	33: 利用者の意見を反映する制度が整っている。 0.74
5	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。	3.77	16: 新刊図書が充実している。 0.75

北分館への評価(教員)



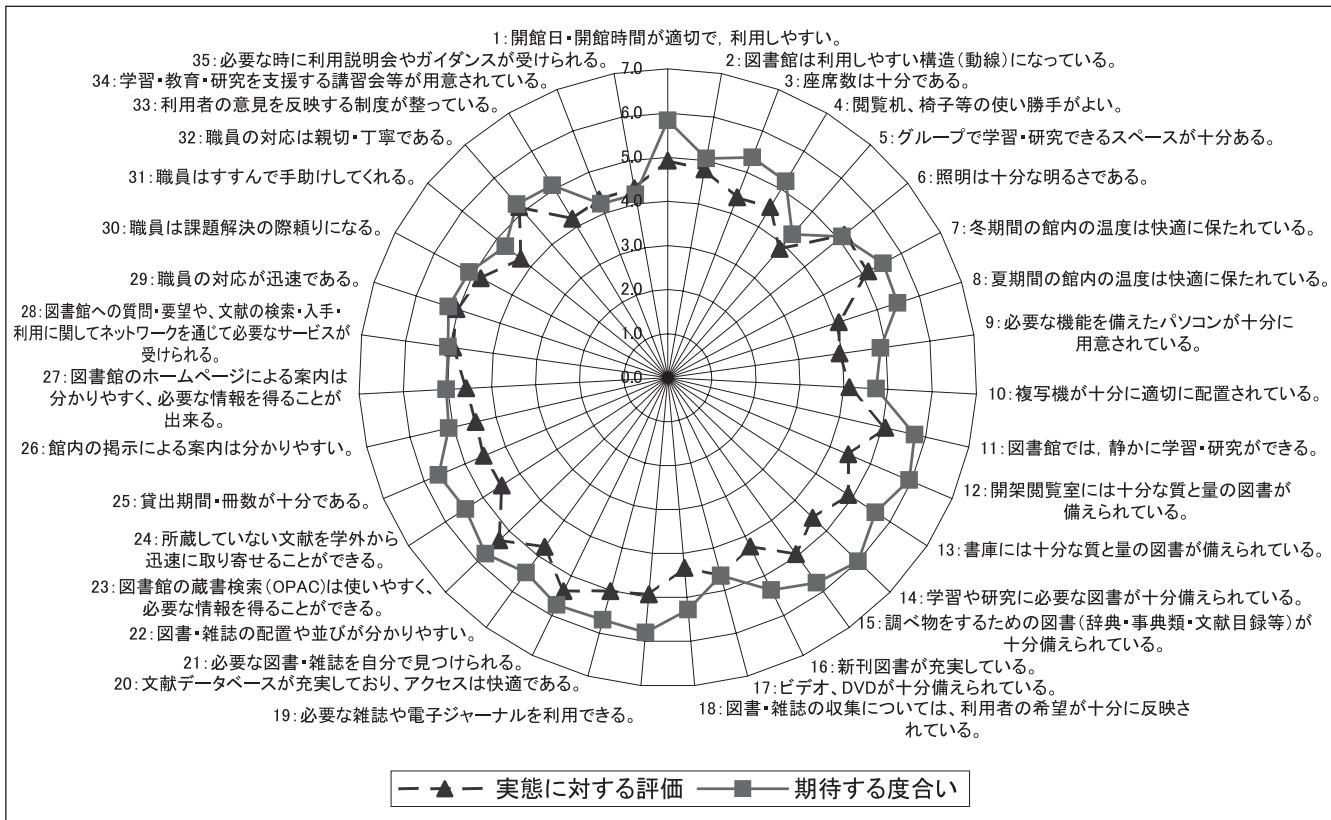
上位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度
1	6: 照明は十分な明るさである。	5.50	23: 図書館の蔵書検索(OPAC)は使いやすく、必要な情報を得ることができる。	5.80	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。
2	7: 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	5.40	24: 所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。	5.73	6: 照明は十分な明るさである。
3	21: 必要な図書・雑誌を自分で見つけられる。	5.37	1: 開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。		7: 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。
4	1: 開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	5.32	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	5.70	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。
5	32: 職員の対応は親切・丁寧である。	5.25	30: 職員は課題解決の際頼りになる。		2: 図書館は利用しやすい構造(動線)になっている。 35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。

下位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度
1	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	4.18	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	4.17	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。
2	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	4.33	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	4.86	13: 書庫には十分な質と量の図書が備えられている。
3	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	4.38	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	4.94	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。
4	10: 複写機が十分に適切に配置されている。	4.40	10: 複写機が十分に適切に配置されている。	4.98	24: 所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。
5	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	4.56	4: 閲覧机、椅子等の使い勝手がよい。	4.99	25: 貸出期間・冊数が十分である。

北分館への評価（大学院生）



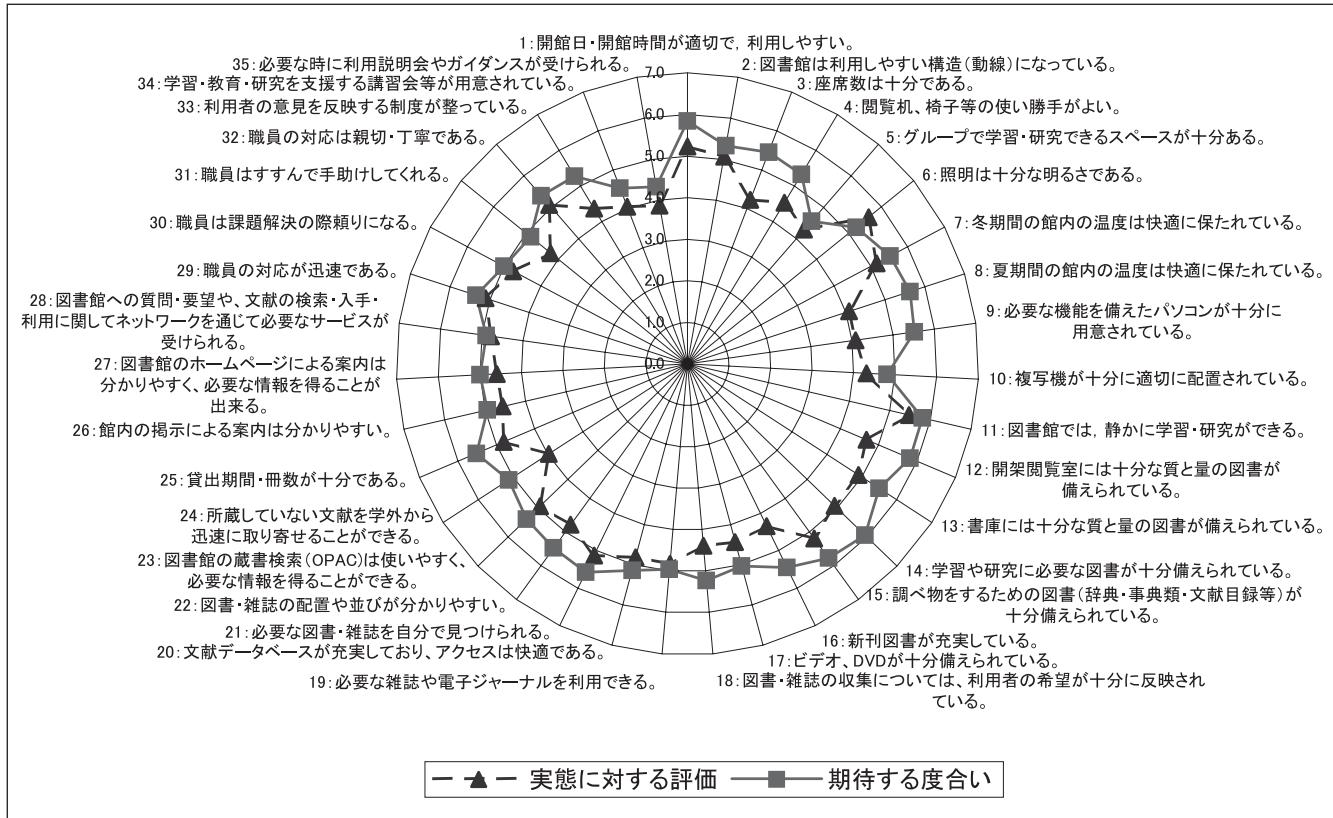
上位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度	
1	21: 必要な図書・雑誌を自分で見つけられる。	5.38	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	6.00	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。	1.03
2	23: 図書館の蔵書検索(OPAC)は使いやすく、必要な情報を得ることができる。	5.31	12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	5.94	35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。	
3	6: 照明は十分な明るさである。	5.15	1: 開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	5.83	6: 照明は十分な明るさである。	1.01
4	7: 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	5.14	19: 必要な雑誌や電子ジャーナルを利用できる。	5.80	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	1.00
5	32: 職員の対応は親切・丁寧である。	5.12	23: 図書館の蔵書検索(OPAC)は使いやすく、必要な情報を得ることができる。	5.75	28: 図書館への質問・要望や、文献の検索・入手・利用に関してネットワークを通じて必要なサービスが受けられる。 32: 職員の対応は親切・丁寧である。	0.98

下位の項目

	実態に対する評価		期待する度合い		満足度	
1	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	3.87	34: 学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。	4.22	8: 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	0.74
2	9: 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	3.93	35: 必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。		12: 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	0.75
3	8: 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	4.07	5: グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	4.30	14: 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	0.76
4	10: 複写機が十分に適切に配置されている。	4.12	17: ビデオ、DVDが十分備えられている。	4.64	16: 新刊図書が充実している。	0.79
5	33: 利用者の意見を反映する制度が整っている。	4.20	10: 複写機が十分に適切に配置されている。 31: 職員はすすんで手助けしてくれる。	4.73	25: 貸出期間・冊数が十分である。	0.80

北分館への評価（学生）



上位の項目

	実態に対する評価	期待する度合い	満足度
1	6：照明は十分な明るさである。	5.61	6：照明は十分な明るさである。 1.07
2	11：図書館では、静かに学習・研究ができる。	5.46	28：図書館への質問・要望や、文献の検索・入手・利用に関してネットワークを通じて必要なサービスが受けられる。 0.98
3	1：開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	5.23	12：開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。 0.97
4	15：調べ物をするための図書(辞典・事典類・文献目録等)が十分備えられている。	5.18	19：必要な雑誌や電子ジャーナルを利用できる。 0.96
5	7：冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	5.15	2：図書館は利用しやすい構造(動線)になっている。 30：職員は課題解決の際頼りになる。 32：職員の対応は親切・丁寧である。 0.95

下位の項目

	実態に対する評価	期待する度合い	満足度
1	35：必要な時に利用説明会やガイダンスが受けられる。	3.86	8：夏期間の館内の温度は快適に保たれている。 0.73
2	24：所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。	3.97	9：必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。 0.74
3	34：学習・教育・研究を支援する講習会等が用意されている。	4.05	3：座席数は十分である。 0.78
4	8：夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	4.09	24：所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。 0.78
5	9：必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	4.09	16：新刊図書が充実している。 0.80
		31：職員はすすんで手助けしてくれる。	4.85

北海道大学附属図書館利用者アンケート

(教員用)

平成18年12月
附属図書館

このアンケートは、図書館サービスの向上のため、利用者のみなさまの意識調査を目的として行うもので、それ以外の目的には使用いたしません。ご記入いただき、平成19年1月30日（火）までに最寄りの図書館（室）へご提出いただかずか、同封の返信用封筒により郵送または学内便でお送りください。ぜひ、ご協力をお願いします。

- a) あなたの所属はどちらですか。（研究科（院）・センター等）
- b) あなたは、主にどの図書館（室）を利用していますか。
 1. 本館 2. 北分館 3. 部局図書室（学部） 4. なし
- c) あなたは、図書館（室）をどの程度利用していますか。
 1. ほぼ毎日 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回
 5. 年に数回 6. ほとんど利用しない 7. 全く利用しない
- d) 電子ジャーナルの利用についてお聞きします。
 問1. 電子ジャーナルを利用したことがありますか。
 1. はい → 問2へ 2. いいえ → 問5へ
 問2. 問1で「はい」と答えた方へお聞きします。利用頻度はどの位ですか。
 1. ほぼ毎日 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回
 5. 年に数回 6. 年に2回以下
 問3. 問1で「はい」と答えた方へお聞きします。電子ジャーナルを利用する主な理由は何ですか。
 (複数回答可)
 1. 冊子体（プリント版）で購入していない雑誌も利用できるから
 2. 時間・場所に関係なく自由に利用できるから
 3. キーワード検索、引用文献へのリンクなどが利用できて便利だから
 4. ダウンロードや出力が簡単にできるから
 5. 冊子体で刊行される前の論文も読むことができ、情報が早く入手できるから
 6. アラート機能などの便利な機能を使いたいから
 7. その他（）
 問4. 問1で「はい」と答えた方へお聞きします。よく利用する電子ジャーナルのアクセス方法は以下のどれですか。(複数回答可)
 1. 図書館ホームページの電子ジャーナルリストから
 2. 電子ジャーナルの出版社のサイトから
 3. Yahoo!, Google 等の検索エンジンから
 4. OPAC (蔵書検索) から
 5. 文献データベース (Ovid, MEDLINE 等) の検索結果から
 6. 電子ジャーナルの参考文献のリンクから
 7. その他（）
 問5. 問1で「いいえ」と答えた方へお聞きします。利用していない理由は何ですか。(複数回答可)
 1. 必要がない
 2. 利用できることを知らなかった。今後は利用したい
 3. 利用できることを知らなかった。今後も利用する予定がない
 4. 利用したい雑誌がない
 5. 使い方がよくわからない
 6. 使うのが面倒
 7. 冊子体（プリント版）の方が便利
 8. 印刷したときの品質が不満
 9. 利用環境（パソコン、ネットワークなど）が不十分
 10. その他（）
 問6. 全ての方にお聞きします。電子ジャーナルについてあなたの意見に近いものは以下のどれですか。(複数回答可)
 1. 電子ジャーナルがあれば冊子体（プリント版）は不要
 2. 冊子体があれば電子ジャーナルは不要
 3. 電子ジャーナルも冊子体もどちらも必要
 4. 電子ジャーナルがよいか冊子体がよいかは雑誌毎に異なる
 5. 電子ジャーナルのタイトル数をもっと増やすべき
 6. 古い年代のものも電子ジャーナルで見られるようにすべき
 7. 電子ジャーナルではなく他のことに予算を使うべき
 8. よくわからない
 9. その他（）

2枚目へ続きます →

電子ジャーナルについてのご意見を自由にお書きください。

e) HUSCAP (ハスカップ：北海道大学学術成果コレクション) についてお聞きします。

HUSCAPとは、図書館が行っている事業の一つで、本学の研究者や大学院生により日々生産されている学術研究成果を保存・公開し、日本ののみならず世界中からも利用してもらうことを目指した学術論文等のコレクションです。

問1. あなたは、HUSCAPを知っていましたか？

1. はい 2. いいえ

問2. 問1で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは、HUSCAPで論文等を検索したことがありますか？

1. はい 2. いいえ

問3. 問2で「はい」と答えた方にお聞きします。HUSCAPを使用したときの感想を次の中から選んでください。

1. 興味を持った 2. 興味がわからなかった 3. どちらともいえない

問4. あなたは、ご自分の論文等をHUSCAPに登録したことがありますか？

出来ればその理由についてもお聞かせください。

1. ある 2. ないが今後したい 3. ない
(理由：)

f) ここからの質問では、附属図書館本館、または北分館のどちらかを選び、その図書館の設備、蔵書等について評価等を行っていただきます。

【回答の方法】

◆「図書館の実態に対する評価」については、評価が高いほど高得点になるよう7段階から選択し、相当する数字を○で囲んでください。わからない場合はNに○を付けてください。

◆「図書館に期待する度合」については、期待する程度が高い項目ほど高得点になるよう、7段階の数字のうち該当する数字を○で囲んでください

問. どちらの図書館の評価を行いますか

1. 附属図書館本館 2. 北分館

1. 施設・設備について	図書館の実態に対する評価							図書館に期待する度合														
	低 ←		→ 高	わから ない	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7			
1 開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
2 図書館は利用しやすい構造（動線）になっている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
3 座席数は十分である。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4 閲覧机、椅子等の使い勝手がよい。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
5 グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
6 照明は十分な明るさである。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
7 冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8 夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
9 必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
10 複写機が十分に適切に配置されている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
11 図書館では、静かに学習・研究ができる。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

図書館の施設・設備についてのご意見を自由にお書きください。

2. 図書・雑誌、情報について	図書館の実態に対する評価							図書館に期待する度合														
	低 ←		→ 高	わから ない	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7			
12 開架閲覧室には十分な質と量の図書が備えられている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
13 書庫には十分な質と量の図書が備えられている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
14 学習や研究に必要な図書が十分備えられている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
15 調べ物をするための図書（辞典・事典類・文献目録等）が十分備えられている。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
16 新刊図書が充実している。	1	2	3	4	5	6	7	N	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7

裏へ続きます →

17	ビデオ、DVDが十分備えられている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
18	図書・雑誌の収集については、利用者の希望が十分に反映されている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
19	必要な雑誌や電子ジャーナルを利用できる。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
20	文献データベースが充実しており、アクセスは快適である。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
21	必要な図書・雑誌を自分で見つけられる。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
22	図書・雑誌の配置や並びが分かりやすい。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
23	図書館の蔵書検索(OPAC)は使いやすく、必要な情報を得ることができる。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
24	所蔵していない文献を学外から迅速に取り寄せることができる。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7

図書館の図書・雑誌、情報についてのご意見を自由にお書きください。

		図書館の実態に対する評価	図書館に期待する度合
1. 施設・設備について		低 ← → 高 わからない	低 ← → 高
1	開館日・開館時間が適切で、利用しやすい。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
2	図書館は利用しやすい構造(動線)になっている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
3	座席数は十分である。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
4	閲覧机、椅子等の使い勝手がよい。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
5	グループで学習・研究できるスペースが十分ある。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
6	照明は十分な明るさである。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
7	冬期間の館内の温度は快適に保たれている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
8	夏期間の館内の温度は快適に保たれている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
9	必要な機能を備えたパソコンが十分に用意されている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
10	複写機が十分に適切に配置されている。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7
11	図書館では、静かに学習・研究ができる。	1 2 3 4 5 6 7 N	1 2 3 4 5 6 7

図書館の職員・サービスについてのご意見を自由にお書きください。

図書館(本館・北分館)についてお気付きの点があれば以下にご自由にお書きください。

このアンケートに関するお問い合わせは電話011-706-3955 アンケート担当係(図書受入係) 松尾 または、
eメール: survey@lib.hokudai.ac.jp までお願いします。ご協力ありがとうございました。